

令和元年度

公益財団法人荒川区自治総合研究所

事業報告書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

公益財団法人荒川区自治総合研究所



# I 庶務事項

## 1 役員等の異動

年月日	役職	氏名	適用
令和元年5月27日	理事	阿久戸 光晴	再任

令和元年5月27日の評議員会において、阿久戸理事が理事に選任された。

## 2 理事会の開催

回	開催等月日	決議及び報告事項
第1回	平成31年 4月1日 (決議の省略)	議決事項 1 評議員選定委員会運営規程の変更を決定する。 2 長田七美を公益財団法人荒川区自治総合研究所 所長に選任する。
第2回	令和元年 5月10日 (決議の省略)	議決事項 1 平成30年度事業報告について決定する。 2 平成30年度収支決算について決定する。 3 令和元年度第1回評議員会の招集について決定 する。
第3回	令和元年 10月21日	報告事項 1 令和元年度荒川区自治総合研究所の前期活動の 状況について報告する。
第4回	令和2年 2月27日	議決事項 1 令和2年度事業計画について決定する。 2 令和2年度収支予算について決定する。 3 令和2年度における資金調達及び設備投資につ いて決定する。 4 令和元年度第2回評議員会の招集について決定 する。

		報告事項 1 令和元年度荒川区自治総合研究所の活動状況について中間報告する。
--	--	---

### 3 評議員会の開催

回	開催月日	決議及び報告事項
第1回	令和元年 5月27日	議決事項 1 平成30年度収支決算について承認する。 2 阿久戸光晴氏を理事に選任する。
		報告事項 1 平成30年度の事業について報告する。
第2回	令和2年 3月11日 (決議の省略)	議決事項 1 令和2年度事業計画について承認する。 2 令和2年度収支予算について承認する。 3 令和2年度における資金調達及び設備投資について承認する。
		報告事項 1 令和元年度の荒川区自治総合研究所の活動状況について中間報告する。

## Ⅱ 事業実施の状況

### 1 調査研究・政策形成支援事業（定款第4条第1項第1号事業）

#### （1） 荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究

##### ① 趣旨

- ・ 「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて、荒川区民総幸福度（以下「GAH」という。）に関する調査研究を行った。GAHの研究については、荒川区民の幸福度を測る指標化の側面と、区民をはじめ荒川区に関わるすべての人や団体等が幸福について共に考え、地域の幸福のための活動につなげていく運動の側面を踏まえ取り組んだ。

##### ② 調査研究の概要

- ・ 区民の幸福実感を調べるため、「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野のGAH指標を用いた第7回目の区民アンケート調査（以下「GAH調査」という。）を実施した。また、平成25年度から平成29年度まで実施したGAH調査の結果を分析し、幸福実感向上に向けての課題の提示と取り組みの方向性をまとめた報告書を、区の関係機関、全国の自治体等に送付した。さらに、これまでのGAH調査の結果についての追加分析と、調査の精度をより向上させるためのGAH調査における設問文の見直しの検討を行った。

#### （2） 児童相談所の開設を契機とした研究

- ・ 令和2年度の児童相談所の開設に向けて、前年度に引き続き、行政と接点が少なく「困難な状況にある」と考えられる荒川区の中学校卒業以降の子ども・若者の実態を把握することを目的として研究を行った。令和元年度は主に、区内外の支援機関や団体へのヒアリングや、困難に関する先行研究の調査等を行うことにより、予防策や支援策など、提言内容の方向性を検討した。

#### （3） 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）運営支援

- ・ 参加自治体の首長及び職員が、相互に施策等に関する意見交換等を行うことを通じて、住民サービスの一層の充実と幸福度の向上を図ることを目的とする「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」の事務局として、区と共同で運営に携わった。
- ・ 参加自治体数 89（令和2年3月末日現在）
- ・ 幸せリーグの活動は、主に各自治体の首長による、会全体の運営に関する事項

を議論する総会と、実務担当者による、情報共有・研究等を行う実務者会議を開催した。

- ・ 総会においては、役員の改選、決算の決議、厚生労働省老健局振興課課長補佐・荻野洋介氏による講演を行った。
- ・ 実務者会議では、平成29年度から幸福度調査や地方創生、子育て支援、少子高齢化対策などのテーマごとに6つのグループを構成し、議論を進め、令和元年度はシンポジウムを兼ねて、その研究成果報告会を開催した。当日は、政策研究大学院大学教授 飯尾潤氏による講評ならびに講演を行った。その後、幸福度のほか、AI・ビッグデータ・IOTなど、新たに6つのグループを結成し、当該テーマに関する議論を開始した。

## 2 人材育成事業（定款第4条第1項第2号事業）

### （1） 区職員の研究員配置

- ・ 研究員として研究所に派遣された区職員3名については、非常勤研究員とともに研究活動に従事することにより、調査研究のノウハウを培うとともに、政策形成能力など職員の総合的な能力の向上に努めた。

### （2） GAHに関する区職員研修

- ・ 主任1年目の職員を対象に、GAHの考え方や行政運営への反映等について理解を深め、GAHを基点とした政策形成能力の向上を図るため、区と共同で研修を実施した。

- 日 時 令和元年12月5日（木）午前9時
- 場 所 あらかわエコセンター 環境研修室
- 出席者 32名
- 内 容 GAHの概要や区民アンケート調査の分析例、区政への反映状況等について、研究所の研究員と区（総務企画課）の職員が講師となって説明した。

### (3) 荒川区職員ビジネスカレッジとの連携講座

- ・ 区職員の問題意識の醸成や能力の向上等を図るため、荒川区職員ビジネスカレッジ（ABC）と連携講座を実施した。
- 日 時 令和2年1月23日（木）午後6時
- 場 所 荒川区役所3階 304・305会議室
- 講 演 「荒川区民総幸福度（GAH）の取り組みについて」
- 出席者 30名（荒川区職員ビジネスカレッジ受講生）
- 内 容 GAHの概要の説明の後、荒川区職員ビジネスカレッジ受講生がいくつかのグループに分かれ、GAHに関する質疑応答及び自分の仕事がどのように区民の幸福実感の向上につながっているかについての議論を行った。

## 3 情報収集・情報発信事業（定款第4条第1項第3号事業）

### (1) 自治体シンクタンクとの交流

- ・ 特別区シンクタンク交流会への参加等を通じて、荒川区民総幸福度（GAH）や幸せリーグ等の取り組みを広め、意見交換や情報共有を行った。

### (2) 「荒川区民総幸福度（GAH）推進リーダー会議」の運営

- ・ 町会等の地域団体のリーダーである区民により構成されるGAH推進リーダー会議を開催し、令和2年度に開設予定の荒川区子ども家庭総合センターの在り方について、区からの報告及び講演を行い、意見交換を実施した。
- 日 時 令和2年1月25日（土）午後2時
- 場 所 サンパール荒川 小ホール
- 出席者 49名（GAH推進リーダー33名含む）
- 内 容 荒川区子ども家庭総合センターの在り方について、区からの報告及び里親委託の重要性に関する講演会を実施した。  
講師：特定非営利活動法人東京養育家庭の会 参与 藤井康弘氏  
講演テーマ：「すべての子どもたちに家庭を～里親委託の重要性と荒川区児童相談所への期待～」

### (3) ニュースレター「RILAC NEWS」の発行

- ・ 研究所における調査研究活動の動向を掲載したニュースレター（No. 20～No. 22）を発行し、区窓口や関係機関に配布し、周知した。

#### (4) ホームページの運営

- ・ 研究所の概要、研究テーマ紹介、発行物紹介、調査研究活動等の情報を幅広く区内外に発信した。
- ・ 幸せリーグ専用ホームページにおいて、総会や実務者会議の活動状況等を発信するとともに、掲示板などを活用しながら自治体間の交流を深めた。

#### (5) その他の情報発信

- ・ 荒川コミュニティカレッジ講座にて、区民を対象に研究所の取り組みやGAHについての講座及び自分の幸せと地域の幸せのつながりについて考えるワークショップを行った。
- ・ 他自治体、議会、研究機関、報道関係等の視察・取材対応を行った。

#### ○ 令和元年度実績

相手方別の件数内訳

行政	5件	マスコミ	1件
県議会、市議会等	7件	その他	5件
大学・研究機関	1件	計	19件

※平成21年10月から令和2年3月末日までの実績は527件